

# くまもと子ども・子育てプラン(仮称)

表記例

(素案)

県が定める区域における  
量の見込み及び確保方策

**【認定区分】**

- 1号：教育（3～5歳・幼稚園、認定こども園）
- 2号：保育（3～5歳・保育所、認定こども園）
- 3号：保育（0～2歳・保育所、認定こども園、地域型保育事業）

**【量の見込み】**

各年度において見込まれる必要数。

**【確保方策】**

各年度に確保される定員の状況。

No.00【●●市】

年度 認定区分	平成27年度								平成28年度											
	1号		2号		3号				1号		2号		3号							
	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	0歳	1、2歳	0歳	1、2歳	0歳	1、2歳	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	0歳	1、2歳	0歳	1、2歳						
量の見込み・確保方策	100		340		60				240		95		335		58				237	
量の見込み	100		340		60				240		95		335		58				237	
確保方策	幼稚園	100	3	30	3					100	3	30	3							
	認定こども園(幼稚園部分)	0	0	0	0					0	0	0	0							
	認定こども園(保育所部分)					0	0	0	0	0	0									
	保育所					250	4	40	4	185	4	300	5	50	5	205	5			
	地域型保育事業					0				0	0	0	5				1	12	1	
	合計	100	3	30	3	250	4	40	4	185	4	100	3	30	3	300	5	55	6	217
確保方策－量の見込み	▲ 10		▲ 50		▲ 20				▲ 55		▲ 3		3		▲ 3				▲ 20	
県が定める数																				

**【確保方策－量の見込み】**

プラス（数字のみ）であれば、受入れ施設に余裕があり、マイナス（▲）であれば、施設が不足。

H27→H28にかけて、

- 保育所の新設（施設数4→5）  
2号：50人、3号：30人
- 地域型保育事業の新設（施設数0→1）  
3号：15人

**【幼児期の学校教育の利用希望が強い】**

2号認定を受け、1号認定の施設（幼稚園、認定こども園）に特例で入所する数。

**【左記以外】**

通常の2号認定（保育所、認定こども園）

平成29年度					平成30年度					平成31年度									
1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号						
	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	0歳	1、2歳		幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	0歳	1、2歳		幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	0歳	1、2歳					
90	330		56	234	85	325		54	231	80	320		52	228					
	36	294				34	291				32	288							
60	2	30	2		70	2	30	2		70	2	30	2						
40	1	0	1		30	1	0	1		30	1	0	1						
		10	1	5	1	5	1	5	1			10	1	5	1	5	1		
		300	5	50	5	205	5					300	5	50	5	205	5		
				5	1	12	1							10	2	24	2		
100	3	30	3	310	6	60	7	222	7	100	3	30	3	310	6	65	8	234	8
	4		16	4	▲ 12						11		19		11		3		

H28→H29にかけて、幼稚園（施設数3→2）の1園が認定こども園（施設数0→1）に移行。  
 1号：40人  
 2号：10人  
 3号：10人の定員

地域型保育事業が1ヶ所新設（計2施設）され、全ての認定区分で必要数が満たされる見込み。

**【県が定める数】**

認定こども園への移行が可能となるよう、需要に対して一定の数を上乗せし、認可・認定の枠を広げる数。